



2025 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 ホ ク ト 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 水野 雅義
(コード番号 1379 東証プライム市場)
問合せ先 広報・IR 室 前田 哲志
(TEL. 026-259-5955)
(URL <https://www.hokto-kinoko.co.jp/>)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社グループは、先般公表した 2029 年 3 月期を目標年度とした中期経営計画のもと、新たな成長戦略の実現に鋭意取り組んでおりますが、資本コストや株価を意識した経営を巡る現状認識や今後の取組み等につき、以下のとおりお知らせいたします。

1. 現状認識

当社グループは、国内きこの相場の安値推移と原材料費・電力費・包装費等の製造原価高騰を主因として当期赤字を計上した 2023 年 3 月期を除き、株主資本コストを上回る ROE を実現し、企業価値を創造してまいりました。また、PBR も継続して 1 倍以上を実現しております。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
ROE (%)	7.71	4.66	-3.86	6.66	7.96
ROIC (%)	4.86	1.58	-2.25	2.49	5.21
株主資本コスト (%)	3.42	3.56	3.67	4.17	4.95
1 株当たり純資産 (円)	1,720.37	1,726.24	1,609.46	1,728.17	1817.38
期末株価 (終値: 円)	2,087	1,906	1,855	1,866	1,866
PBR (倍)	1.21	1.10	1.15	1.08	1.03

上記実績は、2020 年 11 月に公表した前中期経営計画で打ち出した経営ビジョンである「きのこで健康を届けることを使命に市場と消費を拡大する」及び「利益の創出と企業の社会的責任を両立する」の下で、当社グループの総力を挙げて業績拡大に向け邁進した結果であると考えております。

2. 今後の取組み

1) 数値目標

2029 年 3 月期：連結売上高 1,000 億円

(国内きのこ 570 億円、海外 160 億円、加工品 120 億円、
化成品 150 億円)

営業利益 100 億円

(国内きのこ 83 億円、海外 26 億円、加工品 7 億円、
化成品 5 億円、全社費用△21 億円)

2) 方針

トップラインの拡大とコストの最適化によるグループ横断的な収益性向上に取り組むことにより、ROE/ROIC と PBR の向上を目指してまいります。

《目標達成に向けた取り組み》

- ・国内シェアの拡大
エリア×アイテム戦略立案・遂行
- ・プライシング戦略の高度化
需給調整の高度化
マーケティング活動強化
- ・海外展開の強化
成長市場である米国の販売拡大
- ・加工品事業の強化
新規事業及び M&A
- ・生産オペレーションの効率化
エネルギーマネジメントの効率化
業務改善/DX による省人化
- ・調達原料/資材コストの最適化
原料の調達網強化、再利用、代替
資材の小型化による最適化

3) IR 活動の強化

機関投資家や個人投資家に対する決算説明会や個別 IR 面談等の機会を通じ、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みの進捗状況等の対話をこれまで以上に充実させてまいります。

《今後の取り組み予定》

- ・ 個別 IR 面談件数の拡充
- ・ スモールミーティングの開催
- ・ スポンサードリサーチレポートの発行
- ・ 新聞・メディア等での露出の強化
- ・ 株主優待内容の見直しの検討

以 上